

図 書 館 利 用 ガ イ ド

【 一般利用者の方へ 】

鈴鹿工業高等専門学校では、一般の方々に生涯学習の場として本校の図書館を開放しています。下記の事項をご一読の上、ご利用ください。

1. 開館日

次の休館日を除く平日に開館しています。

- ・ 土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日等は休館日です。
- ・ GW、夏季休業期間、蔵書点検期間、年末年始の他、本校の一斉休業日等は休館日です。

なお、平日でも本校行事、学生の試験期間等は利用できません。

臨時休館及び開館時間の変更は、その都度掲示します。

開館日等の図書館カレンダーは、本校図書館ホームページでご覧になれます。

<https://www.suzuka-ct.ac.jp/guide/library/>



2. 開館時間

- ・ 平 日 9：00～19：00（授業実施日）※本校学生の利用時間とは異なります。
- ・ 平 日 9：00～17：00（学生の長期休業期間中及び学校行事実施日など）

3. 閲覧及び貸出・返却など

（1）閲覧

図書館内の資料は、書架から取り出して閲覧することができます。閲覧後は元の位置又は受付に返却してください。

（2）貸出・返却

本校図書館は、バーコードシステムにより、図書の貸出・返却を行っています。

図書の貸出を希望する場合は、本校図書館が発行する一般利用者カード「リブレカード」が必要です。受付で、利用者カード発行申請書に必要事項を記入し氏名・住所等の確認ができるものを添付して申請してください。

なお、リブレカードの有効期限は原則としてありませんが、毎年度末に本人確認ができるものを提示し、確認がとれた場合は継続して使用できるものとします。

①貸出

リブレカードと貸出希望の図書を受付に提示してください。この手続きを忘れると警報ブザーが鳴ります。

ビデオテープ及びDVDについては、館内視聴ができますが、貸出はできません。

貸出できる冊数と期間は、次のとおりです。

一般利用者 3冊以内 14日以内

②返却

返却する図書を受付に提示してください。なお、開館時間以外の返却は、図書館建物入口右奥にある返却ポストをご利用ください。

③継続

借りた図書を貸出期限を越えてさらに貸出を希望する場合は、期限内に継続の手続きをしてください。この場合、リブレカードと継続を希望する図書を受付に提示してください。継続貸出は1回限りです。

(3) 督促

返却期限を過ぎたときは、電話・手紙等で返却督促がなされます。必ず返却期限を守ってください。返却督促が繰り返される場合は、今後の一般利用をご遠慮いただきます。

(4) その他

- ・ 借りた図書は、他の人に転貸しないでください。
- ・ 借りた図書を紛失又は著しく汚損したときは、直ちに受付に申し出てください。この場合は、原則として同一（同額）の図書を弁償しなければなりません。
- ・ 本校図書館利用者としての品位を損なう行為や本校学生・教職員の図書館利用を妨げる行為が認められた場合は、今後の一般利用をご遠慮いただきます。

4. 利用の心得

- ①図書館では、喫煙、飲食は禁止しています。（PET ボトル、水筒など蓋つきは可）
- ②図書館では、携帯電話での通話、酒気帯びでの利用、無許可での撮影、危険物の持込、動物の持込、傘の持込、館内を汚損する行為、公序良俗に反する行為等は一切禁止します。
- ③図書館では静粛を保ち、会話は必要最小限にしてください。
- ④読み終わった図書は、元の位置に正しく戻してください。
- ⑤借りた図書は、期限内に返却してください。
- ⑥借りた図書を紛失等した場合は、弁償しなければなりません。
- ⑦図書及び机などの備品は、大切に扱ってください。
- ⑧住所が変わったとき、リブレカードを紛失したときは、直ちに届け出てください。
- ⑨図書館のパソコンは書籍の検索以外には利用できません。
- ⑩一般の方は、図書館以外のところへは立ち入らないでください。
- ⑪その他、受付の職員の指示を守ってください。

守っていただけない場合は、今後の一般利用をご遠慮いただきます。

5. 図書・資料の種類と配置

館内の図書・資料は、次のような種類と配置となっています。

(1) 開架図書

基本的な図書です。日本十進分類法（NDC）に従って書架に並べてあります。自由に閲覧・貸出できます。

(2) 参考図書

辞書、年鑑、ハンドブック、地図などです。禁帯出のラベルが貼ってあるものは、貸出できません。

(3) 閉架図書

貴重な図書・資料です。閲覧を必要とするときは、受付に申し出てください。

(4) 新聞・雑誌

ブラウジングコーナーにあります。自由に閲覧できます。雑誌の旧号は貸出できます。

(5) 視聴覚資料

CD、DVDなどが機器とともに利用できます。利用するときは受付に申し出てください。

DVDは貸出・持込はできません。

6. 図書・資料の検索方法

開架図書、参考図書などは、自分で直接書架のところへ行って探すことができます。このほかに、図書館ホームページの情報検索から目的の図書・資料を探し出すこともできます。キーワードを入力することにより、配架場所・貸出情報などが確認できます。